小6理科 ものの燃え方 No.2

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1　集気びんの中でろうそくを燃やし続けると、やがて火が消えてしまいます。このように、ものが燃えたあとに火が消えるのはなぜですか。

- ○ 空気中の窒素が使われて少なくなるから。
- ○ 空気中の酸素が使われて少なくなるから。
- ○ 空気中の二酸化炭素が使われて少なくなるから。
- ○ 空気中の水蒸気が使われて少なくなるから。

問2　空気の中にいちばん多くふくまれていて、全体の約5分の4をしめている気体は何ですか。

- ○ 酸素
- ○ ちっ素
- ○ 二酸化炭素
- ○ 水蒸気

問3　実験で、燃えているほのおを小さくしたいとき、空気の入り口をどのようにすればよいですか。

- ○ そのままにしておく
- ○ 広くする
- ○ せまくする
- ○ 別の入り口を増やす

問4　空気の入り口を下に、出口を上に作って空気の入れかわりをよくすると、びんの中のろうそくの燃え方はどうなりますか。

- ○ 燃え方は変わらない
- ○ すぐに消えてしまう
- ○ 燃え方が弱くなる
- ○ よく燃えるようになる

問5　集気びんの中でろうそくを燃やし続けるとき、どのようにするとろうそくは燃え続けますか。

- ○ びんの上のふたを閉めて、空気が出入りしないようにする。
- ○ びんの上と下にすき間をつくり、たえず新しい空気が通るようにする。
- ○ びんの中に水をたくさん入れて、空気を追い出すようにする。
- ○ びんの底を完全にふさいで、上から冷たい風を送り続ける。

問6　ろうそくの熱であたためられた空気は、まわりの空気と比べてどのように動きますか。

- ○ まわりよりも軽くなって上へ動く。
- ○ まわりよりも重くなって下へ動く。
- ○ まわりよりも軽くなって下へ動く。
- ○ まわりよりも重くなって上へ動く。

問7　集気びんの中で燃えていたろうそくの火が消えたとき、びんの中の酸素のようすについて正しく説明しているものはどれですか。

- ○ 酸素は燃える前と同じ量だけ残っている。
- ○ 酸素は完全に使われて、まったく残っていない。
- ○ 酸素は完全になくなったわけではなく、一部残っている。
- ○ 酸素はすべて窒素に変わって残っていない。

問8　二酸化炭素の性質について、正しく説明しているものはどれですか。

- ○ 空気中にごくわずか（約0.04%）含まれていて、ものを燃やすはたらきがある。
- ○ 空気中にごくわずか（約0.04%）含まれていて、ものを燃やすはたらきはない。
- ○ 空気中にたくさん含まれていて、ものを燃やすはたらきがある。
- ○ 空気中にたくさん含まれていて、ものを燃やすはたらきはない。

問9　ものが燃え続けるために、たえず新しく入れかえる必要があるものは何ですか。

- ○ 窒素
- ○ 水
- ○ 二酸化炭素
- ○ 空気

問10　集気びんの上下にすき間を作ってろうそくを燃やすとき、新しい空気はどこからびんの中に入り込みますか。

- ○ びんの真ん中
- ○ 上のすき間
- ○ 下のすき間
- ○ ろうそくの芯のすぐ横

問11　ものを燃やす前の空気の中に、二酸化炭素はおよそ何%含まれていますか。

- ○ 約21%
- ○ 約0.04%
- ○ 約10%
- ○ 約30%

問12　ろうそくや木などが燃えたあとの空気の中で、燃える前と比べて新しくできて増える気体はどれですか。

- ○ 二酸化炭素
- ○ 酸素
- ○ 窒素
- ○ 水素

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう